RV130およびRV130W VPNルータのインターネットキーエクスチェンジ(IKE)ポリシー設定

目的

インターネットキー交換(IKE)は、2つのネットワーク間でセキュアな通信を確立するプロト コルです。IKEを使用すると、パケットは暗号化およびロックされ、2つのパーティが使用 するキーでロック解除されます。

VPNポリシーを設定する前に、インターネットキーエクスチェンジ(IKE)ポリシーを作成す る必要があります。詳細については、『<u>*RV130およびRV130WでのVPNポリシーの設定*</u>』 を参照してください。

このドキュメントの目的は、RV130およびRV130W VPNルータにIKEプロファイルを追加す る方法を示すことです。

該当するデバイス

- RV130
- RV130W

手順

ステップ1:Router Configuration Utilityを使用して、左側のメニューから[VPN] > [Site-to-Site IPSec VPN] > [Advanced VPN Setup] を選択します。[Advanced VPN Setup] ページが表示 されます。

Advanced VPN Setup						
NAT Traversal: 🔲 Enab	NAT Traversal: 🗌 Enable					
IKE Policy Table						
Name	Local ID Re	emote ID Exchang	e Mode Encryption Al	orithm Authentication A	lgorithm DH Group	
🗌 No data to display			L			
Add Row Ed	Add Row Edit Delete					
VPN Policy Table						
Status	Name	Policy Type	Encryption Algorithm	Authentication Algorithm	Local Rem	ote
📃 No data to display	No data to display					
Add Row Edit Enable Disable Delete						
Save Cancel						

ステップ2:[IKE Policy Table]で[Add Row] をクリックします。新しいウィンドウが表示され ます。

	IKE Policy Table									
		Name	L	.ocal ID	Remote ID	Exchange Mode	Encryption Algorithm	Authentication Algorithm	DH Group	
	🗌 No	No data to display								
(Add I	Row	Edit	Delete						

ステップ3:[IKE Name] フィールドにIKEポリシーの名前を入力します。

Add / Edit IKE Policy Configuration			
IKE Name:	testpolicy		
Exchange Mode:	Main 👻		

ステップ4:[Exchange Mode] ドロップダウンメニューから、キー交換を使用してセキュアな 通信を確立するモードを選択します。

Add / Edit IKE Policy Configuration		
IKE Name:	testpolicy	
Exchange Mode:	Main 🖃	
Local	Main Aggressive	

使用可能なオプションは次のように定義されています。

- ・ Main:ピアのIDを保護してセキュリティを強化します。
- ・アグレッシブ:ピアIDは保護されませんが、接続は迅速になります。

ステップ5:[Local Identifier Type] ドロップダウンメニューから、プロファイルのIDのタイプ を選択します。

Local	
Local Identifier Type:	Local WAN IP
Local Identifier:	Local WAN IP
Local Identilier.	UP Address

使用可能なオプションは次のように定義されています。

・ローカルWAN(インターネット)IP:インターネット経由で接続します。

・ IPアドレス:ネットワーク上で通信するためにインターネットプロトコルを使用してい る各マシンを識別する、ピリオドで区切られた一意の数字ストリング。

ステップ6:(オプション)ステップ5でドロップダウンリストから[IP Address] を選択した 場合は、[Local Identifier] フィールドにローカルIPアドレスを入力します。

Local	
Local Identifier Type:	Local WAN IP 👻
Local Identifier:	192.168.10.1

ステップ7:[Remote Identifier Type] ドロップダウンメニューから、プロファイルのIDのタイ プを選択します。

Remote	
Remote Identifier Type:	Remote WAN IP 🖃
Remote Identifier:	Remote WAN IP IP Address

使用可能なオプションは次のように定義されています。

・ローカルWAN(インターネット)IP:インターネット経由で接続します。

・ IPアドレス:ネットワーク上で通信するためにインターネットプロトコルを使用してい る各マシンを識別する、ピリオドで区切られた一意の数字ストリング。

ステップ8:(オプション)ステップ7のドロップダウンリストから[IP Address] を選択した 場合は、[Remote Identifier] フィールドにリモートIPアドレスを入力します。

Remote	
Remote Identifier Type:	Remote WAN IP 👻
Remote Identifier:	192.168.2.100

ステップ9:[Encryption Algorithm] ドロップダウンメニューから、通信を暗号化するアルゴリ ズムを選択します。**AES-128**がデフォルトとして選択されています。

IKE SA Parameters		
Encryption Algorithm:	DES -	
Authentication Algorithm:	3DES	
Pre-Shared Key:	AES-128 AES-192 AES-256	
DH Group:	Group1 (768 bit) 🛛 🗸	
SA-Lifetime:	28800	Seconds (Range: 30 - 86400, Default: 28800)
Dead Peer Detection:	🗖 Enable	
DPD Delay:	10	(Range: 10 - 999, Default: 10)
DPD Timeout:	30	(Range: 30 - 1000, Default: 30)

使用可能なオプションは、セキュリティのレベルが最も高いものから最も高いものまで、次 のとおりです。

- ・ DES:Data Encryption Standard (データ暗号規格)。
- 3DES:Triple Data Encryption Standard。
- ・ AES-128:Advanced Encryption Standard(AES)では128ビットキーを使用します。

・ AES-192:Advanced Encryption Standard(AES;高度暗号化規格)では192ビットキー が使用されます。

・ AES-256:Advanced Encryption Standard(AES)では256ビットキーを使用します。

注:AESは、より優れたパフォーマンスとセキュリティを実現する、DESおよび3DESを 介した標準的な暗号化方式です。AESキーを長くすると、パフォーマンスが低下し、セ キュリティが向上します。AES-128は、速度とセキュリティの間で最適な妥協点を提供 するため、推奨されます。

ステップ10:[Authentication Algorithm] ドロップダウンメニューから、通信を認証するアルゴ リズムを選択します。SHA-1がデフォルトとして選択されます。

IKE SA Parameters		
Encryption Algorithm:	AES-128 -	
Authentication Algorithm:	MD5	
Pre-Shared Key:	SHA-1 SHA2-256	
DH Group:	Group1 (768 bit) 🕞	
SA-Lifetime:	28800	Seconds (Range: 30 - 86400, Default: 28800)
Dead Peer Detection:	🗖 Enable	
DPD Delay:	10	(Range: 10 - 999, Default: 10)
DPD Timeout:	30	(Range: 30 - 1000, Default: 30)

使用可能なオプションは次のように定義されています。

- ・ MD5:Message Digest Algorithm(MD5)には128ビットのハッシュ値があります。
- ・ SHA-1:Secure Hash Algorithmのハッシュ値は160ビットです。
- ・ SHA2-256:256ビットのハッシュ値を使用するセキュア・ハッシュ・アルゴリズム。

注:MD5とSHAはどちらも暗号化ハッシュ関数です。データの一部を取り込み、圧縮し 、通常は再現性のない一意の16進数出力を作成します。MD5は基本的にハッシュ衝突に 対するセキュリティを提供しないため、衝突耐性が不要なスモールビジネス環境でのみ 使用してください。SHA1はMD5よりも優れた選択肢です。SHA1は非常に遅い速度で優 れたセキュリティを提供するからです。最良の結果を得るために、SHA2-256には実用的 な攻撃がなく、最高のセキュリティを提供します。すでに説明したように、セキュリテ ィが高いほど速度が遅くなります。

ステップ11:[Pre-Shared Key] フィールドに、8 ~ 49文字の長さのパスワードを入力します

IKE SA Parameters		
Encryption Algorithm:	AES-128 💌	
Authentication Algorithm:	SHA-1 👻	
Pre-Shared Key:		
DH Group:	Group1 (768 bit)	•
SA-Lifetime:	28800	Seconds (Range: 30 - 86400, Default: 28800)
Dead Peer Detection:	🔲 Enable	
DPD Delay:	10	(Range: 10 - 999, Default: 10)
DPD Timeout:	30	(Range: 30 - 1000, Default: 30)

ステップ12:[DH Group] ドロップダウンメニューから、DHグループを選択します。ビット 数は、セキュリティのレベルを示します。接続の両端は同じグループ内にある必要がありま す。

IKE SA Parameters	
Encryption Algorithm:	AES-128 -
Authentication Algorithm:	SHA-1 🔻
Pre-Shared Key:	
DH Group:	Group1 (768 bit)
SA-Lifetime:	Group1 (768 bit) Group2 (1024 bit) Group5 (1536 bit)
Dead Peer Detection:	Enable
DPD Delay:	10 (Range: 10 - 999, Default: 10)
DPD Timeout:	30 (Range: 30 - 1000, Default: 30)

ステップ13:[SA-Lifetime] フィールドに、セキュリティアソシエーションが有効になる時間 を秒単位で入力します。デフォルト値は 28800 秒です。

IKE SA Parameters		
Encryption Algorithm:	AES-128 -	
Authentication Algorithm:	SHA-1 🔹	
Pre-Shared Key:]
DH Group:	Group1 (768 bit) 👻	
SA-Lifetime:	28800	Seconds (Range: 30 - 86400, Default: 28800)
Dead Peer Detection:	🗖 Enable	
DPD Delay:	10	(Range: 10 - 999, Default: 10)
DPD Timeout:	30	(Range: 30 - 1000, Default: 30)

ステップ14:(オプション)非アクティブピアとの接続を無効にする場合は、[Dead Peer Detection] フィールドの[Enable] チェックボックスをオンにします。Dead peer Detectionを イネーブルにしていない場合は、ステップ17に進みます。

IKE SA Parameters		
Encryption Algorithm:	AES-128 -	
Authentication Algorithm:	SHA-1 🔻	
Pre-Shared Key:		
DH Group:	Group1 (768 bit) 👻	
SA-Lifetime:	28800	Seconds (Range: 30 - 86400, Default: 28800)
Dead Peer Detection:	🗖 Enable	
DPD Delay:	10	(Range: 10 - 999, Default: 10)
DPD Timeout:	30	(Range: 30 - 1000, Default: 30)

ステップ15:(オプション)Dead Peer Detectionを有効にした場合は、[DPD Delay] フィー

ルドに値を入力します。この値は、ルータがクライアント接続の確認を待機する時間を指定 します。

Dead Peer Detection:	🗖 Enable	
DPD Delay:	10	(Range: 10 - 999, Default: 10)
DPD Timeout:	30	(Range: 30 - 1000, Default: 30)

ステップ16:(オプション)Dead Peer Detectionを有効にした場合は、[DPD Timeout] フィールドに値を入力します。この値は、クライアントがタイムアウトになるまで接続を維持する時間を指定します。

Dead Peer Detection:	🗖 Enable		
DPD Delay:	10	(Range: 10 - 999, Default: 10)	
DPD Timeout:	30	(Range: 30 - 1000, Default: 30)	

ステップ17:[Save] をクリックして変更を保存します。

IKE SA Parameters		
Encryption Algorithm:	AES-128 -	
Authentication Algorithm:	SHA-1 -	
Pre-Shared Key:		
DH Group:	Group1 (768 bit) 👻	
SA-Lifetime:	28800	Seconds (Range: 30 - 86400, Default: 28800)
Dead Peer Detection:	🗖 Enable	
DPD Delay:	10	(Range: 10 - 999, Default: 10)
DPD Timeout:	30	(Range: 30 - 1000, Default: 30)
Save Cancel	Back	

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人に よる翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっ ても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性につ いて法的責任を負いません。原典である英語版(リンクからアクセス可能)もあわせて参照する ことを推奨します。